

1. 「財団法人あしたの日本を創る協会」のめざすもの

財団法人あしたの日本を創る協会は、1956年に時の鳩山一郎首相の提言によって設立されました。生活学校や生活会議をはじめとして、住みよい地域社会を創ろうとがんばっている多くの団体と連携したり支援することによって、次のことをめざしています。

(1)暮らしの中の課題を地域社会の力で解決していこう

子育て支援や子どもの育成、高齢者等の地域活動への参加や福祉の充実、環境・資源問題や食品の安全の確保などは、すぐに解決しなければならない問題です。これらの問題に地域の団体が取り組み、解決をはかっています。

(2)地域社会からの提言・要望を国や社会に反映していこう

地域で取り組む団体の要望や提言が、国や社会に反映できるよう、より多くの声を集約していきます。

(3)住民自治を培っていこう

活動の過程で、地域社会の中で住民同士や住民と行政との連携をはかることにより、住民自治が培われていくことをめざします。

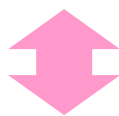
生活学校

消費生活を向上させるために、子どもやお年寄りが快適に暮らせるために、生活の中から問題を見つけて解決する活動をしたり、快適な環境を創るために行政に提案して改善していく活動をしています。いま全国に約1,100余りのグループ約4万3千人の女性が生き生きと活躍しています。

生活会議

殺風景なまちに新しい祭りを創ったり、昔からまちに伝わる伝統文化を掘り起こしてまちの個性を生かす活動が進められています。いま全国に約1,200余りのグループが男性を中心に活躍しています。

財団法人
あしたの日本を創る協会



都道府県協議会

ふるさとづくり集団

豊かなふるさとをつくるために自主的・主体的に多種多様な活動を進めている集団です。

安全なコミュニティづくり集団

安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて活動を進めている集団です。

2.事業内容

(1)活動集団(地区)の育成と支援

■生活学校・生活会議の育成と活動支援

生活学校は全国で約1,100校あり、環境問題や高齢者福祉・食品の安全性の問題などに取り組んでいます。

生活会議は全国で約1,200地区あり、環境保全や青少年の育成・まちづくりなどに取り組んでいます。

■生活学校・生活会議のリーダー育成

生活学校や生活会議のリーダー養成を目的に、都道府県や全国6ブロックで研究集会を開催しています。

■安全なコミュニティづくり地区育成

安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けた活動を支援します。

(2)キャンペーン事業

■あしたの暮らし ふるさとづくり 全国フォーラム

子育て支援や子どもの育成、高齢者等の地域活動への参加や福祉の充実、環境・資源問題や食品の安全の確保など“今”の課題の解決の方策を探り、あわせてふるさとづくりのためのフォーラムです。

■地球環境と資源エネルギーを大切にす国民運動

地球温暖化防止や省エネ・省資源等の方策を検討するとともに、実践の輪を広げるために、啓発用のパンフレットや広報誌の発行、全国各地でフォーラム等を開催するなどにより啓発に努めます。

■ふるさとづくり賞

活気に満ちたまちづくり、個性豊かな地域社会づくりに取り組む集団などを顕彰します。

■まちづくりネットワーク会議

全国の活動集団が自主的に開催するまちづくりネットワーク会議を支援します。

■世代間交流シンポジウム

子どもから高齢者まで、三世代が相互に協力して地域社会や家族のあり方を問うシンポジウムを、関係する団体と共催して開催します。

■子どもの活力を育む運動

子育て環境の悪化、家庭・家族の機能の低下等を地域活動として克服していくため、子どもの活力を育くむ運動に推進します。

(3)地域づくり情報システム

■ホームページ(→ <http://www.ashita.or.jp/>)

全国のふるさとづくりの活動事例や活動を支援する専門家、助成団体などを紹介しています。

■メーリングリスト

各地のふるさとづくりの情報交換やネットワーク化をめざしています。

■まちづくりI化

まちづくりのI化を進めるために、中古パソコンの再利用を進めています。また、事務局内にコーナーを設けてパソコンの講習を進めています。

3.国民運動の推進体制

